平成 22 年度 事業報告書

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 11 月 30 日)

1. オペラ自主公演の開催

- ア. 東京二期会オペラ劇場『ファウストの劫罰』エクトール・ベルリオーズ作曲
[東京二期会／東京フィル ベルリオーズ・プロジェクト 2010]

原作：ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ「ファウスト」

4 部からなる劇的物語 字幕付原語＜フランス語＞上演

平成 22 年 7 月 15 日、16 日、17 日、18 日 東京文化会館大ホール

指揮：ミシェル・プラッソン

演出・振付：大島早紀子

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

主催：財団法人東京二期会

協力：有限会社東京アートファクトリー（H・アール・カオス）、東京フィルハーモニー交響楽団

協賛：ブラザー工業株式会社、ジローレストランシステム株式会社

サクラ精機株式会社、サクラファインテックジャパン株式会社

助成：公益財団法人三菱 UFJ 信託芸術文化財団、財団法人花王芸術・科学財団、

財団法人ローム ミュージック ファンデーション、東京都芸術文化発信事業

平成 22 年度文化芸術創造活動支援事業

＜事業実績＞外題「4 部からなる劇的物語」が示すように、オペラ芸術として作曲されたものではないが、近年はヨーロッパをはじめオペラとして上演し、演劇「ファウスト」の原精神を表象することに成功した。演出は平成 19 年『ダフネ』に続く 2 回目の大島早紀子氏を起用。ソロ歌手の少ない声楽作品を総合芸術として効果的に舞台化する為に、現代の聴衆に音楽からのアプローチのみならず、コンテンポラリーダンスの手法を大胆に取り入れ、躍動的舞台を提供した。伝統的オペラ手法を超越したファウスト物語の本質を明らかにした。指揮のプラッソン氏は、ありがちなベルリオーズサウンドではなく、クリアかつ暖かみのある音色に保ち、自身の持つ熟達したフランス音楽の伝統を示した。

入場者数：5,539 名（入場率 60.1%）

チケット販売枚数 4,549 枚

- イ. 東京二期会オペラ劇場『魔笛』ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト作曲
オペラ全 2 幕 歌詞は字幕付原語＜ドイツ語＞上演 日本語台詞

平成 22 年 9 月 9 日、10 日、11 日、12 日 新国立劇場オペラパレス

指揮：テオドール・グシュルバウアー

演出：(故)実相寺昭雄、演出補：飯塚励生

管弦楽：読売日本交響楽団

主催：財団法人東京二期会、財団法人読売日本交響楽団

協賛：ブラザー工業株式会社

協力：財団法人新国立劇場運営財団、円谷プロダクション

助成：公益財団法人野村財団、平成 22 年度文化芸術創造活動支援事業

＜事業実績＞オリジナル上演は平成 17 年 3 月、その後平成 19 年 7 月の再演を経ての再リバイバル公演。実相寺氏は回り舞台を多角的に利用し、モーツァルトの世界を完全に日本へ定着させた名演出である。今回も子どもの舞台経験を豊かにする目的で、子どもチケットを発売、家庭でオペラが話題となる文化土壌の熟成を意図した。

入場者数 5,327 名（入場率 72.4%）

チケット販売枚数 4,538 枚

- ウ. 東京二期会オペラ劇場『メリー・ウィドー』フランツ・レハール作曲
オペレッタ全 3 幕 日本語上演

平成 22 年 11 月 19 日、20 日、21 日、23 日 日生劇場
指揮：下野竜也
演出：山田和也
管弦楽：東京交響楽団
共催：日生劇場 [公益(財)ニッセイ文化振興財団]
協賛：ブラザー工業株式会社
助成：平成 22 年度文化芸術創造活動支援事業

<事業実績>平成 17 年 2 月に上演された山田和也プロダクションの再上演である。山田氏の意図は、大人のエスプリを醸し出しながら、品性を保った内容が評価された。出演した二期会歌手にエンターテインメント性を加味して、総合舞台芸術として質の高いオペレッタ公演に仕上がった。出演者に要求されたのは、歌唱、舞踊、レビュー、日本語による歌唱と台詞による演技と、オペラよりハードルが高いといわれるほどの高度な技術は、日本のオペレッタの舞台を貢献できると確信した。
入場者数 4,381 名 (入場率 88.8%) チケット販売枚数 3,793 枚

2. 演奏会自主公演の開催

ア. 二期会サロンコンサート (4 回)

平成 22 年 5 月 12 日、7 月 21 日、
10 月 6 日、11 月 17 日 カワイ表参道コンサートサロンパウゼ

<事業実績>二期会会員・準会員の中からオーディションにより、選抜されている。審査員は二期会幹事演奏委員と代議員演奏委員の合同により、サロンコンサートに適した企画または演奏の実力を審査している。選ばれた出演者はテーマを具体化し、曲目はアリアから、歌曲、童謡なども交え、音楽を身近に感じるコンサートとして定評がある。最終的な内容は、幹事演奏委員が監修している。
入場者数 435 名 チケット販売枚数 441 枚

イ. 二期会新進声楽家の夕べ (1 回)

平成 22 年 6 月 24 日 東京文化会館小ホール

<事業実績>二期会オペラ研修所第 53 期を成績優秀で修了した 20 名による、若手歌手のお披露目コンサート。出演資格は、研修所の総合成績上位 20 名が選ばれる。この舞台で二期会正会員としてデビューする。
入場者数 553 名 チケット販売枚数 595 枚

ウ. 二期会研究会駆伝コンサート (1 回)

平成 22 年 7 月 25 日 東京文化会館小ホール

<事業実績>声楽家団体“二期会”には 12 の研究会があり、500 名を越すほどの会員が所属し日頃から研鑽を積んでいる。その 12 の研究会の内、10 の研究会が一同に会し成果を発表した演奏会である。今回は民謡コーナーを設け、国別の馴染みのある曲をプログラムに盛り込んだ。演奏時間も 5 時間弱と長い、出入りを自由としている。
入場者数 607 名 チケット販売枚数 585 枚

エ. 二期会オータムコンサート (1 回)

平成 22 年 9 月 19 日 北とびあさくらホール

主催：財団法人東京二期会 共催：財団法人北区文化振興財団、東京都北区
協賛：日本興亜損害保険株式会社

<事業実績>恒例の北区との共催公演。今年は会場の都合により夏に行われている「二期会サマーコンサート」が 9 月に移動したことにより、「二期会オータムコンサート」として開催した。出演

者はオーディションにより選抜された歌手と、二期会で活躍しているソリストを加えている。北区
区民 300 名を招待し、地域にも貢献している。

入場者数 690 名 チケット販売枚数 441

オ. 二期会クリスタルコンサート (1回)

平成 22 年 11 月 30 日

すみだトリフォニーホール小ホール

<事業実績> “二期会” にオーディション、推薦または全国の二期会から移籍などにより入会した歌
手を、出演対象にしたお披露目のコンサート。司会は二期会幹事演奏委員が担当し、出演者や曲目
を紹介する。すでに演奏活動のキャリアを積んでいる為、コンサートの内容は高い評価を得ている。

入場者数 229 名 チケット販売枚数 225 枚

3. オペラ依頼公演の開催

ア. こ〜ぶ文化観賞会 特別企画「オペラを楽しもう」～初めてのオペラに行く前に～

平成 22 年 11 月 25 日 仙台市青年文化センター

主催：みやぎ生活協同組合

<事業実績>平成 23 年 5 月、オペラ『コジ・ファン・トゥッテ』を公演する。その公演に先立ち、
オペラを初めて鑑賞する前に、分かりやすく楽しむ方法を伝授し案内する企画。ナビゲーターの宮
本益光 (バリトン) のユニークな説明により、オペラの楽しさを十分に理解され、参加者からはオ
ペラのみならずオペラ歌手についての質問も多く、関心を持ってもらえた感触を得た。

プログラム：カルメンより“ハバネラ”、ジャンニスキッキより“私のお父さん”、モーツァルト『コ
ジ・ファン・トゥッテ』より抜粋 他。

入場者数 450 名 (こ〜ぶ文化観賞会会員)

4. 音楽劇・合唱公演

ア. 東京都、心の東京革命推進協議会

「あいさつは魔法の力」(全 4 公演)

- ・平成 22 年 5 月 10 日 練馬区立開進第四小学校 (体育館)
- ・平成 22 年 6 月 22 日 新宿区立淀橋第四小学校 (体育館)
- ・平成 22 年 8 月 19 日 東京国際フォーラム B2 展示ホール (「キッズフェスタ」会場内)
- ・平成 22 年 10 月 8 日 府中市立白糸台小学校 (体育館)

<事業実績> 「あいさつ」について一緒に考えるための音楽劇。小学生を主人公として、友達や
周囲の人との関わりの中で、あいさつから始まる心と心のふれ合いの大切さを訴えた。

参加者数 5 月 10 日/560 名、6 月 22 日/330 名、8 月 19 日/200 名、10 月 8 日/650 名

イ. 平成 22 年度文化庁「子どものための優れた舞台芸術体験事業」(学校公演)

ワークショップ

公演開催校

9 月 13 日	下松市立中村小学校	10 月 25 日	久米郡美咲町立加美小学校
9 月 13 日	周南市立夜市小学校	10 月 26 日	広島市立筒瀬小学校
9 月 14 日	広島市立筒瀬小学校	10 月 27 日	江田島市立能美中学校
9 月 14 日	江田島市立能美中学校	10 月 28 日	下松市立中村小学校
9 月 15 日	美咲町立加美小学校	10 月 29 日	周南市立夜市小学校
9 月 16 日	雲南市立寺領小学校	11 月 9 日	鳥取市立用瀬中学校
9 月 16 日	雲南市立西小学校	11 月 10 日	琴浦町立赤碕中学校
9 月 17 日	琴浦町立赤碕中学校	11 月 11 日	雲南市立寺領小学校
9 月 17 日	鳥取市立用瀬中学校	11 月 12 日	雲南市立西小学校

5. オペラ講座の開催（2回）

- 平成 22 年 4 月 10 日「ファウストを観て 若返りましょう！」二期会第 1 スタジオ
お話し・ピアノ：青島広志 特別賛助出演：岸本力
賛助出演：羽山弘子、水船桂太郎、北川辰彦
- 平成 22 年 10 月 31 日「オペラは予言と占いが満載！」二期会第 1 スタジオ
お話し・ピアノ：青島広志 ゲスト：森田沙矢佳
賛助出演：桑田葉子、磯地美樹、泉良平

＜事業実績＞オペラ入門者からオペラファンまで幅広い方を対象に、新たなオペラの魅力を提供している。カルチャー教室等でありがちなドラマの物語説明のなぞりや映像鑑賞ではなく、全て二期会会員の实演歌唱で楽曲を演奏し、オペラの持つ多面的な価値を掘り起こしている。講師：青島広志氏。
入場者数 4 月 10 日／187 名、10 月 31 日／158 名
チケット販売枚数 4 月 10 日／194 枚、10 月 31 日／147 枚

6. 会員・研究会・リサイタル公演（12 件）

平成 22 年

4 月 19 日	二期会イタリア歌曲研究会	イタリア文化会館
6 月 5 日	二期会日本歌曲研究会	旧東京音楽学校奏楽堂
8 月 22 日	高橋優花ソプラノリサイタル	厚木市文化会館小ホール
8 月 29 日	森朱美ソプラノリサイタル	王子ホール
9 月 3 日	森永朝子メゾソプラノリサイタル	王子ホール
9 月 21 日	二期会イタリア歌曲研究会	東京文化会館小ホール
9 月 30 日	二期会ロシア歌曲研究会	東京文化会館小ホール
10 月 20 日	佐竹由美ソプラノリサイタル	浜離宮朝日ホール
11 月 8 日	岸本力バスリサイタル	東京文化会館小ホール
11 月 15 日	中屋早紀子リサイタル	津田ホール
11 月 20 日	西田ちづ子ソプラノリサイタル	津田ホール
11 月 28 日	中沢章子ソプラノリサイタル	王子ホール

7. オペラ歌手の養成

ア. 二期会オペラ研修所（11 月 30 日現在、在籍数）

予 科： 在籍数 72 名 基礎音楽表現、演技表現の修得を目的とする。

本 科： 同 81 名 より高度な音楽表現、演技表現の修得を目的とする。

マスタークラス：同 40 名 オペラ舞台上の総合表現力の修得を目的とする。

＜事業実績＞予科、本科は年間を前期と後期に分け、マスタークラスは更なる実践力を身につける為、前期、中期、後期と分かれている。予科のカリキュラムは年間でモーツァルトを中心に、二重唱、三重唱を原語で研修し、オペラの歌唱演技を学んだ。本科は日本人であるには必須である邦人オペラ作品を必修とし、日本語歌詞の歌唱、着付け所作も学んだ。並行してイタリア、ドイツ、フランス、英米のオペラ作品を選択し、レパートリーを広げオペラの豊かな表現力を培う。マスタークラスは前期にバロック・オペラを研修、中期にドイツオペラ作品を中心に、近現代の英米、フランスのオペラを課題とし、音楽のみならず作品解釈に取り組みプロフェッショナルなオペラ歌手としての実践力を身につける。試験は予科が 2 回（アリア試験 1、試演会 1）、本科は邦人作品チェックが 1 回と試験は 2 回（アリア試験 1、試演会 1）、マスタークラスは試験 3 回（アリア試験 1、試演会 2）が終了している。

イ. インターン制度

オペラ制作委員会の管轄下で、オペラ自主公演 1 演目に対して、1～3 名をアンダースタディに採用し、オペラ歌手の実践教育を行う。

<事業実績>インターン制度とは、研修所を修了した研修生の中から、当法人が主催するオペラ公演にアンダースタディとして参加する。アンダースタディに選ばれると、コレペティ稽古を受けることができ、さらに舞台稽古では本役の代わりとして立つこともある。自身の研鑽以外でも、舞台が完成されるまでの貴重な経験とオペラ歌手の実践教育を行う。

- ・研修演目とインターン生
『ファウストの劫罰』加藤太朗、門間信樹
『魔笛』金原聡子、中村洋美、野村光洋
『メリー・ウィドー』天野聡絵

8. オペラに関する国際交流

- ・『ファウストの劫罰』－指揮者にはフランスの名匠ミシェル・プラッソン氏を招聘した。フランスで学び、フランスの歌劇場で音楽監督を歴任。コンクール優勝をきっかけに渡米。ニューヨーク・シティオペラで米国デビューを果たす。日本にはNHK交響楽団への客演で来日している。今回は、演出の強烈的な舞台と喧嘩せず、やさしく包む感じの音楽に仕上がった。氏の得意とするフランス絵画や文学を思わせると評価を得た。
- ・『魔笛』－指揮者にテオドール・グシュルバウアー氏を招聘した。オペラの分野ではウィーン国立歌劇場の指揮者としても来日を果たしている。日本では読売日本交響楽団をはじめ、有力オーケストラと共演している。今回の成果は、氏はモーツァルト音楽に定評があり、様式感ある合唱の成果や流麗な音楽表現は、世界の歌劇場に優るとも劣らない内容となった。

9. 機関誌の発行

- ・「二期会通信」を2回(6月1日、9月1日)季刊として発行した。
オペラの宣伝と、チケット販売促進を目的に発行。1回2万部を発行している。主に、賛助会及び愛好会員、二期会会員、劇場、CDショップ、音楽大学に無料配布している。
- ・「二期会会報」を2回(6月1日、9月1日)季刊として発行した。
1回2,700部を発行し、二期会会員のみ無料配布している。内容は二期会内部の情報。主に幹事会議事録、会員の演奏活動、会員動向、会のイベントなどを中心に掲載している。

10. 公益財団法人への移行について

平成22年3月19日内閣府公益認定等委員会へ公益認定申請を行い、同年11月18日、同委員会から公益財団法人として認定する内閣総理大臣の「認定書」を受領した。
同年12月1日付けで、旧法人の解散登記及び新法人の設立登記を行った。